



令和3年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年8月6日

上場会社名 株式会社アビスト 上場取引所 東
 コード番号 6087 URL https://www.abist.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 進 勝博
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 進 顕 (TEL) 0422-26-5960
 四半期報告書提出予定日 令和3年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年9月期第3四半期の連結業績(令和2年10月1日～令和3年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期累計増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年9月期第3四半期	6,688	△3.8	337	△50.9	450	△31.7	546	28.1
2年9月期第3四半期	6,951	3.2	687	△30.6	659	△34.9	426	△39.4

(注) 包括利益 3年9月期第3四半期 574百万円(18.9%) 2年9月期第3四半期 482百万円(△29.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
3年9月期第3四半期	137.40	—	—	—
2年9月期第3四半期	107.23	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年9月期第3四半期	7,957	74.6	5,937	74.6	5,937	74.6
2年9月期	8,149	70.8	5,769	70.8	5,769	70.8

(参考) 自己資本 3年9月期第3四半期 5,937百万円 2年9月期 5,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2年9月期	—	0.00	—	102.00	102.00	—
3年9月期	—	0.00	—	—	—	—
3年9月期(予想)	—	—	—	102.00	102.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年9月期の連結業績予想(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,150	△1.2	500	△39.9	630	△22.8	700	401.2	175.88	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年9月期3Q	3,980,000株	2年9月期	3,980,000株
② 期末自己株式数	3年9月期3Q	344株	2年9月期	294株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	3年9月期3Q	3,979,669株	2年9月期3Q	3,979,768株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するワクチンへのアクセスが世界経済の回復を二分する主要な断層線として浮上しており、経済見通しをめぐる各国間の差は拡大しています。先行きについては、異例の不確実性が高い状況である一方、ワクチンや主要国における追加的な政策支援により成長の回復が予測されています。

我が国経済においては、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にありますが、持ち直しの動きが続いております。先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種が進み、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されます。但し、一部地域においては感染症の再拡大の傾向もみられ、感染症の動向が経済に与える影響に十分に留意する必要があります。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社グループが主力事業を展開する自動車業界及び自動車部品業界においては、一部で半導体不足による生産調整の動きが続くものの、減産からの挽回が期待され、政府発表の「カーボンニュートラル」の実現、CASE対応に向けて研究開発予算も維持していくものとみられます。当社が主力とする設計開発アウトソーシング事業は生産の上流工程である為、自動車メーカーの工場稼働停止や減産が、契約解除等の直接的な影響は少ないものとみられますが、新型コロナウイルス感染症流行前の稼働工数への回復には時間を要することが予想されます。また、新型コロナウイルス感染症の流行が長期化、さらに深刻化した際などには業績に影響を及ぼす可能性もある為、引き続き、業界の動向に注視する必要があります。

以上のような事業環境のもと、当社は主力事業である設計開発アウトソーシング事業における請負業務の拡大を中心に、積極的な事業推進に励んでまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は66億88百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は3億37百万円（同50.9%減）、経常利益は4億50百万円（同31.7%減）となりました。また、固定資産売却益385百万円を特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億46百万円（同28.1%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

①設計開発アウトソーシング事業

当セグメントにおきましては、売上高は64億47百万円（前年同期比3.3%減）となり、セグメント利益（営業利益）は9億51百万円（同30.6%減）、セグメント利益（営業利益）率14.8%となりました。技術者稼働率が高水準で推移した一方、新卒社員教育及びOJT教育の強化により技術者一人当たりの売上高が減少したことにより減収減益となりました。

②3Dプリント事業

当セグメントにおきましては、DfAM（3Dプリント向け設計）関連を含めた提案営業を積極的に実施した一方で、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置下での取引先からの受注遅れなどにより、売上高は60百万円（前年同期比8.3%減）、セグメント損失（営業損失）は57百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1億56百万円）となりました。

③美容・健康商品製造販売事業

当セグメントにおきましては、美容商品のテレビ通販放映による売上が減少した一方で、水素水のOEM受注や広告宣伝費を含む経費の見直しを実施した結果、売上高は1億55百万円（前年同期比15.5%減）、セグメント損失（営業損失）は21百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）56百万円）となりました。

④不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、収益用不動産（渋谷区）の売却により、売上高は62百万円（前年同期比8.0%減）となり、セグメント利益（営業利益）は23百万円（同31.9%減）、セグメント利益（営業利益）率37.3%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は79億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億91百万円の減少となりました。主に、収益不動産売却により現金及び預金の増加があった一方で、有形固定資産の減少があったことと、賞与引当金による繰延税金資産の減少があったことによるものです。

負債合計は20億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億59百万円の減少となりました。これは主に賞与支払いによる賞与引当金の減少によるものです。

純資産合計は59億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億67百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和3年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和3年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,017,873	3,289,834
売掛金	1,235,380	1,242,447
仕掛品	47,257	87,661
原材料	34,834	31,503
その他	146,152	195,841
流動資産合計	4,481,497	4,847,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,204,945	1,079,572
土地	1,323,948	1,044,527
その他(純額)	166,692	136,276
有形固定資産合計	2,695,586	2,260,376
無形固定資産	238,819	239,389
投資その他の資産	733,185	610,489
固定資産合計	3,667,591	3,110,256
資産合計	8,149,089	7,957,544
負債の部		
流動負債		
短期借入金	50,000	50,000
未払金	562,390	722,493
未払法人税等	172,753	28,722
賞与引当金	347,614	—
その他の引当金	—	19,819
その他	354,730	292,945
流動負債合計	1,487,489	1,113,980
固定負債		
役員退職慰労引当金	245,002	238,018
退職給付に係る負債	563,112	599,480
その他	83,966	68,612
固定負債合計	892,081	906,110
負債合計	2,379,570	2,020,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,026,650	1,026,650
資本剰余金	1,016,650	1,016,650
利益剰余金	3,878,445	4,019,322
自己株式	△929	△1,081
株主資本合計	5,920,816	6,061,540
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△151,297	△124,087
その他の包括利益累計額合計	△151,297	△124,087
純資産合計	5,769,519	5,937,453
負債純資産合計	8,149,089	7,957,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和元年10月1日 至 令和2年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和2年10月1日 至 令和3年6月30日)
売上高	6,951,358	6,688,660
売上原価	5,138,813	5,222,855
売上総利益	1,812,544	1,465,804
販売費及び一般管理費	1,125,028	1,128,179
営業利益	687,515	337,625
営業外収益		
受取配当金	5,944	—
受取手数料	1,022	482
助成金収入	660	112,096
その他	983	166
営業外収益合計	8,609	112,745
営業外費用		
支払利息	138	170
投資有価証券売却損	34,080	—
その他	2,354	—
営業外費用合計	36,573	170
経常利益	659,552	450,200
特別利益		
固定資産売却益	—	385,934
特別利益合計	—	385,934
税金等調整前四半期純利益	659,552	836,135
法人税、住民税及び事業税	147,214	179,478
法人税等調整額	85,578	109,850
法人税等合計	232,793	289,329
四半期純利益	426,759	546,806
親会社株主に帰属する四半期純利益	426,759	546,806

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和元年10月1日 至 令和2年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和2年10月1日 至 令和3年6月30日)
四半期純利益	426,759	546,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,930	—
退職給付に係る調整額	20,990	27,209
その他の包括利益合計	55,920	27,209
四半期包括利益	482,679	574,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	482,679	574,016
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和元年10月1日 至 令和2年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	設計開発 アウトソー シング事業	3Dプリント 事業	美容・健康 商品製造 販売事業	不動産賃貸 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	6,667,044	65,494	150,742	68,077	6,951,358	—	6,951,358
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	33,343	—	33,343	△33,343	—
計	6,667,044	65,494	184,085	68,077	6,984,702	△33,343	6,951,358
セグメント利益又は損失 (△)	1,371,090	△156,546	△56,976	34,379	1,191,947	△504,431	687,515

(注) 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△504,431千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和2年10月1日 至 令和3年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	設計開発 アウトソー シング事業	3Dプリント 事業	美容・健康 商品製造 販売事業	不動産賃貸 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	6,447,659	60,085	118,262	62,653	6,688,660	—	6,688,660
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	37,360	—	37,360	△37,360	—
計	6,447,659	60,085	155,622	62,653	6,726,021	△37,360	6,688,660
セグメント利益又は損失 (△)	951,722	△57,308	△21,642	23,396	896,168	△558,542	337,625

(注) 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△558,542千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。